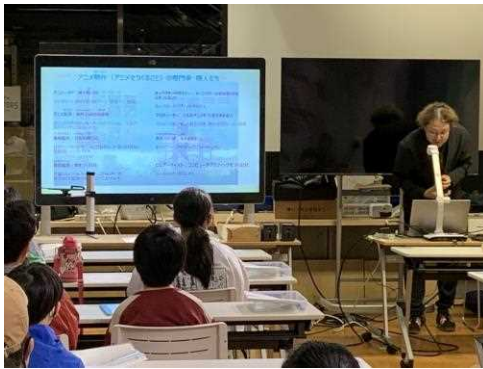


# セイカ子ども大学特別講座 「アニメーション製作ワークショップ」 実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム  
<精華町・京都精華大学・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2025年11月22日（土）・2026年1月24日（土）（同一講座2回開催）  
午後2時～午後3時30分
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 アニメがどのようにしてつくられているのか、原画という動きのもととなる絵を見ながら説明します。絵が動く仕組みを理解した後、実際に動く絵を描いていただくワークショップです。
- 【講師】 京都精華大学マンガ学部アニメーション学科  
准教授 石井 規仁先生
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学4年生～中学生（小4は保護者同伴）
- 【参加者】 1回目 13組 2回目 19組（2回目申込多数の為枠を追加）
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校  
チラシ配架：精華町役場・図書館  
SNS：精華町HP・Instagram・K-Scan HP  
毎日新聞・京都新聞
- 【内容】 ①アニメーションはどのようにつくられているのか。  
アニメ1本に4千～5千枚の絵が使われ、約200人が製作に携わる事、また背景と人物は別々に描かれることなどの説明。加えて精華ArchiveDの手書きアニメの素材を電子資料化する実証事業についての説明がありました。
- ②子供たちが実際に作画に挑戦
- ・ボールが跳ねる様子
  - ・キツネが走る様子（先生のイラストをなぞるかたちで描画）
- の2つの課題について、それぞれ3～4枚を描き上げた後、タブレット端末のアプリで撮影を行い、アニメーションのような動きを確認しました。

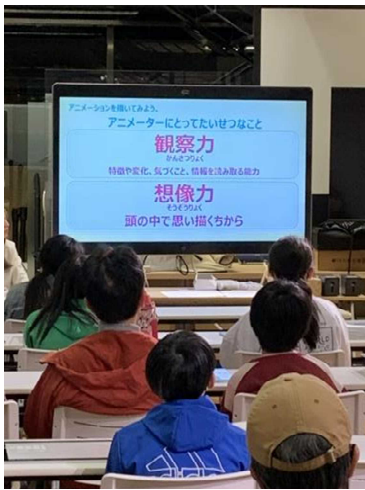
アニメーションについて



精華ArchiveD実証実験について



絵を描くのに大切な事



絵を描いてみよう①ボール



アプリで撮影



キツネの模型をよく観察



絵を描いてみよう②キツネ





【アンケート集計結果】 (31組回答)

このイベントを知ったきっかけは？ (数字は人数)

- ・チラシ ( 学校から ②③ ・ 公共施設等 ① ) ・精華町HPやSNS ②
- ・その他 ③ ( アニメに興味があり自分で調べた・知人から・父の会社の案内 )
- ・無回答 ③

「アニメーション制作ワークショップ」はどうでしたか？ (数字は人数)

- ①作業 ・簡単すぎた ① ・ちょうどよかった ②⑧ ・むずかしすぎた ① ・無回答 ①
- ②説明 ・わかりやすかった ②⑨ ・わかりにくかった ① ・無回答 ①
- ③時間 ・時間が足りなかった③ ・ちょうどよかつ ②④ ・時間が余った③ ・無回答 ①

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？ (数字は人数)

- ・よかった ②⑧ ・よくなかった ① ・その他 ① 無回答 ②

※その理由をご記入ください。

- ・もともと絵を描くことが好きなので楽しく体験できたようです。学校では教わらない内容を教えてもらえて良かったです。
- ・アニメーションについて、よく知れたから。
- ・アニメーションはあまりやらないから、楽しかった。
- ・知らない道具やアニメーションのアプリを知れて楽しかった
- ・初めてアニメーションの作り方を知れた。
- ・自分が書いた絵が動くのがおもしろかった
- ・分かりやすかったし、自分でもできたから。
- ・説明もわかりやすかったし作業もとても楽しかったから。
- ・体験したことないことをいっぱいできたから。
- ・自分の絵が動かせることかわかったから
- ・大学の先生に教えていただいて貴重な体験もできてわかりやすくおもしろかったからです。  
「楽しんで描いてほしい」良い言葉ですね。
- ・説明が分かりやすくて、おもしろかったからです。
- ・こういった機会がとやってみよう、という良いきっかけになるので良かったです。

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

【本人】

- ・動かしたいアニメーションの動きを意識して、絵を描くのが難しかった。
- ・イージートレーサーなどの見たことのない道具がちょっと欲しくなっていました。  
普段やらないことをたくさん体験して楽しかったです。
- ・アニメーションには、たくさんの方が携わっていることを知りました。これからも、イラスト等を動かしたいです。
- ・自分で描いた絵が動いて楽しかったです。実際に長いアニメを作っているアニメーターの人はすごいなと思いました。
- ・きつねを描く時、想像で全て描くんじゃなく特徴や動きを観察して描かなきゃだめなんだと分かりました。
- ・絵が好きなのでとても楽しかったです。アニメにするのは初めてだったのでまたやってみたいですよ。
- ・もっと別のアニメーションを作りたい。
- ・下に光をおくことで写しやすくなることがわかった。
- ・とても話がわかりやすく作業も楽しくて教えてくださる方も、とてもやさしく上手とってくれたのがうれしかったです。
- ・初体験で、緊張しましたがとても楽しかったです。アニメはいろんな人たちの力で作られていくんだなと思いました。
- ・アニメーションには、思ったよりもたくさんの方が関わっていると知り、びっくりした。
- ・イージートレーサーで描くことが初めてだったので、楽しかったです。これからもイラストを描こうと思いました。自分のキャラクターが動いてよかったです。
- ・アニメーションは機材等をちゃんとそろえないとできないと思っていたが、こんなに、簡単にできるなんて思えなかつた。
- ・きつねの模型を持って来ていたから、観察しやすかつたし、描くことがもっと好きになつたからよかったです。

【保護者】

- ・自分が描いた絵を動かせたのが楽しかつたと思います。貴重な経験をありがとうございました。
- ・興味のあるアニメーターというお仕事の体験ができ、学びになりました。これからも、楽しく描いていってくれる事を願います。楽しいワークショップをありがとうございました。
- ・楽しく参加できました。家でもできる内容はとてもうれしいです。
- ・貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。普段楽しく見ているアニメが、どのようにして作られているのか知ることが出来、アニメに対してさらに興味が増したようです。

## 【保護者】 つづき

- ・アニメーションを作成することの楽しさを体験することができ、今後もお家で楽しむことができそうなので、子供と一緒に取り組んでいきたいです。
- ・普段見ているアニメーションがどんな風に作られているのか分かって良かったと思います。家でもコマ撮りアプリを使って作れるようなのでやらせてみようと思います。
- ・背景は別に描くことを知りました。絵を描くときに観察力が大事、想像力も大事だと思いました。先生が、自由に描くこと、かわいいね、いいね、と認めてくれたのびのび楽しく体験できてよかったです。
- ・先生が優しく声掛けしてくださり、安心して取り組めていたようでした。
- ・とても興味深かったです。なかなか体験できないので次回は他の工程(色つけ等)企画して下さいたら嬉しいです。
- ・実際に描いた絵が動く、というのを見せてもらえるというのはとても良い経験になったと思います。アニメを作るのにどれぐらいの人や時間がかかることなのか知れたのも良かった。(ひとつ辛かったのは、後ろで座っていた席がすごく寒く、冷たい空気が首すみに当たっていてかぜひきそうでした。)

科学に対する関心度を教えてください。(数字は人数)

- ・とても関心がある ⑨ ・関心がある ⑬ ・どちらともいえない ⑧
- ・あまり関心がない ① ・まったく関心がない ①

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。当てはまるものすべてに○をつけてください。(数字は人数)

- ・良い取り組みだと思う ②⑦
- ・学研都市にふさわしい ⑧
- ・今後も継続してほしい ①⑦
- ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ⑨
- ・このプロジェクトを知っていた ⑤
- ・このプロジェクトを知らなかった ⑧
- ・その他 ① (メイカーズフェアに毎年来ていました。)